

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第5区分

【発行日】平成28年7月7日(2016.7.7)

【公表番号】特表2015-533111(P2015-533111A)

【公表日】平成27年11月19日(2015.11.19)

【年通号数】公開・登録公報2015-072

【出願番号】特願2015-536842(P2015-536842)

【国際特許分類】

B 6 4 C 1/26 (2006.01)

B 6 4 C 3/34 (2006.01)

B 6 4 F 5/00 (2006.01)

【F I】

B 6 4 C 1/26

B 6 4 C 3/34

B 6 4 F 5/00 D

B 6 4 F 5/00 C

【手続補正書】

【提出日】平成28年5月16日(2016.5.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

航空機胴体であって、当該航空機胴体のアウトボード部上に機体外板を有する航空機胴体と、

前記航空機胴体の一部を通って延びるウイングボックスであって、封止され、加圧可能とされたウイングボックスと、

前記ウイングボックスの外面及び前記機体外板に固定して取り付けられた少なくとも一对の取り付け部材及び取り付け用リンク部材、とを含む航空機。

【請求項2】

前記取り付け部材は、複数の留め具によって、前記ウイングボックスの垂直外面に固定されている、請求項1に記載の航空機。

【請求項3】

前記ウイングボックスの前記垂直外面は、

前記ウイングボックスの前面、または、

前記ウイングボックスの後面、の一方をさらに含む、請求項2に記載の航空機。

【請求項4】

前記複数の留め具は、前記ウイングボックスの内部キャビティの外側に設けられている、請求項2又は3に記載の航空機。

【請求項5】

前記取り付け部材は、前記機体外板からインボード距離離間した遠位端を有するインボード延出部を含み、

前記取り付けリンク部材は、前記インボード延出部の前記遠位端及び前記ウイングボックスの前記外面に連結されている、請求項1～4のいずれかに記載の航空機。

【請求項6】

前記取り付け部材は、

前記航空機胴体の前記機体外板に連結された上方延出部と、
前記航空機胴体の前記機体外板及び前記ウイングボックスに連結された下方延出部と、
をさらに含み、

前記取り付け部材の前記上方延出部及び下方延出部は、固定して取り付けられている、
請求項1～5のいずれかに記載の航空機。

【請求項7】

前記ウイングボックスは、前記ウイングボックスの内部キャビティ内に配置されたウイング燃料容器をさらに含む、請求項1～6のいずれかに記載の航空機。

【請求項8】

ウイングボックスを作製することと、

前記ウイングボックスに連結する航空機胴体を作製することと、

前記ウイングボックスの外面または前記航空機胴体のアウトボード部の少なくとも一方に少なくとも1つの取り付け部材を取り付けることと、

前記航空機胴体を前記ウイングボックスに固定して取り付けるためにアライメントすることと、

前記少なくとも1つの取り付け部材を介して、前記ウイングボックスに前記航空機胴体を留め具で締結すること、とを含む、航空機の組み立て方法。

【請求項9】

前記ウイングボックスの前記外面に前記少なくとも1つの取り付け部材を取り付けた後で、

前記ウイングボックスに前記航空機胴体を締結する前に、

前記ウイングボックスの内部キャビティに対して耐圧試験を行うこと、をさらに含む、請求項8に記載の方法。

【請求項10】

前記ウイングボックスの前記外面における、前記航空機胴体の前記アウトボード部から所定距離の位置に、前記少なくとも1つの取り付け部材のインボード延出部を取り付けることをさらに含む、請求項8又は9に記載の方法。

【請求項11】

少なくとも1つの取り付け部材を取り付けることは、

前記ウイングボックスの垂直外面のうちの前面または後面の1つに、少なくとも1つの取り付け部材を取り付けること、をさらに含む、請求項8～10のいずれかに記載の方法。

【請求項12】

前記ウイングボックスに前記航空機胴体を取り付けることは、

締結中に前記留め具が前記ウイングボックスの内部キャビティに入るのを防止することをさらに含む、請求項8～11のいずれかに記載の方法。

【請求項13】

前記少なくとも1つの取り付け部材は、上方延出部及び下方延出部を含み、少なくとも1つの取り付け部材を取り付けることは、

前記上方延出部を前記航空機胴体の前記アウトボード部に取り付けることと、

前記下方延出部前記をウイングボックスの前記外面に取り付けること、とをさらに含み、

前記ウイングボックスに前記航空機胴体を取り付けることは、前記少なくとも1つの取り付け部材の前記上方延出部及び前記下方延出部を介して、前記航空機胴体を前記ウイングボックスに留め具で締結することをさらに含む、請求項8～12のいずれかに記載の方法。